資料8

今後のスケジュール等

令和8年10月22日

水災害調査・対策検討委員会（第2回）
国土交通省　水管理・国土保全局

都市型水害への対策方針（案）－ 令和8年8月千葉豪雨等を踏まえて －

○ 千葉豪雨では河川や下水道の排水施設の対応能力を越える豪雨により、都市部に降った降雨を排水しきれず、アンダーパスや住宅街のくぼ地等の相対的低地等の浸水により人的被害が発生した。また、千葉豪雨、東海地方の大雨においては、鉄道駅や道路等の都市機能を支える施設等が浸水したことにより社会経済への甚大な影響が発生した。

○ 河川整備や雨水ポンプ増強等が着実に被害軽減効果を発揮していることを踏まえつつ、今回明らかになった都市型水害特有の課題に対し、「事前の備え」「避難行動の支援」「浸水被害の軽減」の観点から総合的なハード・ソフト対策を速やかに講じる。

流域治水対策

	① 明らかになった課題	② 対応の方向性	③ 具体的な対策
事前の備えの強化	• 内水氾濫のリスクに関する情報（浸水想定等）の周知不足 • 水路や窪地等に起因する内水・洪水氾濫のリスクに関する情報の空白域が存在し、これら地域での浸水被害を確認 • 大都市の地下空間では、豪雨により甚大な被害が生じる可能性を改めて認識	• 空白域を含めて浸水リスクに関する情報整備、周知徹底 • 浸水想定技術の精度向上 • 地下空間の管理者等への注意喚起	• 低地などの地形を反映したリスク情報を早期に整備するとともに、浸水を想定するための簡易な解析手法の開発・整備を目指した取組の実施 • 浸水想定の作成に使用している想定最大降雨設定等について妥当性を確認し、作成マニュアルへ反映 • 地下空間の管理者等へ近年豪雨での留意点等を周知
命を守る避難行動の支援	• 都市型の内水氾濫発生時の道路冠水による車内閉じ込め等の危険性への理解が十分に浸透しておらず、死者が発生 • リアルタイムでの内水氾濫発生状況が分からず、避難行動等で考慮できない	• 大雨特別警報発表時の情報発信、チラシ等による周知、アンダーパス対策の推進 • リアルタイム情報の充実	• 国土交通省・気象庁の合同記者会見での注意喚起を強化 • とるべき行動や車を運転する際の注意点等の周知 • アンダーパスにおける被害防止対策の推進 • 内水氾濫リスクが大きい地域への浸水センサ等の観測機器の設置を促進しつつ、これら情報をオープンデータ化
河川・下水道等の一体的な浸水被害軽減	• 経済中枢機能が集中する都市部での整備水準を上回る豪雨により、深刻な被害 • マンションや総合病院などの地下空間の浸水により生活・サービス等に多大な影響 • 住宅地内の局地的な窪地等での深い浸水で、車内閉じ込め等により人命が失われる事案が生じた	• 気候変動の影響等を踏まえた対策目標の降雨規模を見直し • 下水道の「貯める・流す」対策、河川での「受けとめる」対策、民間等による対策を一体的に加速化・強化 • 窪地等への被害軽減対策	• 特に重点的に対策を行うべき地区について、近年の降雨状況等を踏まえて目標雨量を見直し • 民間等による雨水貯留施設の整備や、河道掘削等の河川・下水道の一体的整備の加速化・強化 • 地下街等への浸水防止用設備の整備促進や排水ポンプ等の耐水化 • 浸水深が深い等の危険箇所を明示し、浸水センサの設置や局所的な被害軽減対策を実施

下水道、河川、まちづくり、道路、地下施設管理者等からなる協議会等で総合的・整合的に推進

今後のスケジュール

第1回：
（9月18日）

（1）千葉豪雨等の都市型水害について
- 被害状況、現地調査結果の報告
- 課題と対策の方向性（案）

第2回：
（10月22日）

（1）千葉豪雨、東海地方の大雨等の都市型水害について
- 第1回の意見等について
- 都市型水害への対策方針

（2）北陸地方等における豪雨災害、台風第25号災害について
- 課題と対策の方向性（案）

⇒ ご意見を反映のうえ、「都市型水害への対策方針」をとりまとめ・公表

第3回：
（12月上旬頃）

（1）北陸地方等における豪雨災害、台風第25号災害について
（2）今年度の豪雨への対応等について（意見交換）